

＼大学院生の皆さん／

産総研で働きながら、学位取得を目指しませんか？

制度の概要

産業技術総合研究所(産総研)は、優れた研究開発能力を持つ大学院生を、産総研リサーチアシスタント(RA)として雇用しています。雇用された大学院生は、産総研の研究者と共に国の研究開発プロジェクト等に参画し、その研究成果を学位論文に活用することができます。産総研は、意欲ある大学院生が研究開発のプロフェッショナルとなることを応援し、若手研究者を育成します。

雇用条件

対象	博士後期課程 (博士課程)	博士前期課程 (修士課程)
条件	産総研の研究開発プロジェクトの推進に大きく貢献可能な高度な研究開発能力・論文生産能力を持ち、研究者の指導の下、自立的に業務を遂行できること。	産総研の研究開発プロジェクトの推進に貢献可能な研究開発能力を持ち、研究者の指導の下、自立的に業務を遂行できること。
雇用日数	1ヵ月あたり平均10～14日 (外国人留学生の方は10～12日)	1ヵ月あたり平均4～14日 (外国人留学生の方は4～12日)
給与額	時給1,900円 (月14日勤務で月額約20万円)	時給1,500円 (月7日勤務で月額約8万円)

※研究課題等については事前に指導教官および受入希望の産総研研究者とご相談ください。

※月の残り日数は技術研修員として、研究開発に参画できます。

※規定に基づき、通勤手当の支給があります。

※一日当たりの勤務時間は7時間45分(休憩1時間)です。

雇用までの流れ

(例) 学会・共同研究相手先・連携大学院教員での出会い

大学〇〇研究室

産総研 研究グループ

指導教官

大学院生

受入担当研究員

こんな学生がいます！

ぜひ産総研で受け入れたい！

RAとして雇用

連携大学院制度

産総研は70以上の大学と連携大学院協定を結んでおり、300名以上の研究者が客員教員として、大学で講義や研究指導を実施しています。

あなたの大学にもいる
産総研研究者



産総研 連携大学院



問い合わせ先

国立研究開発法人産業技術総合研究所

イノベーション推進本部 産学官・国際連携推進部 連携企画室

〒305-8560 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第1

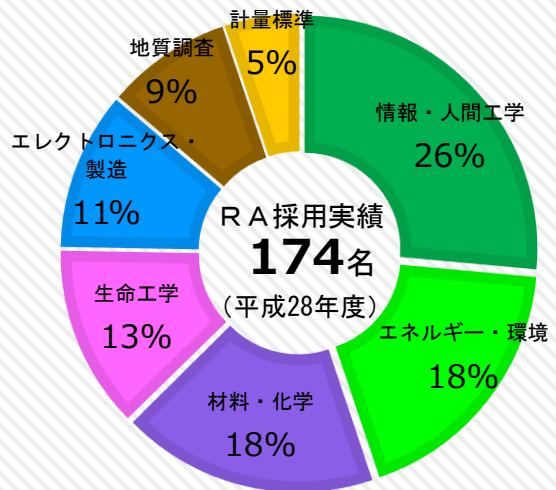
Mail: aist-ra-ml@aist.go.jp

お気軽にお問い合わせください

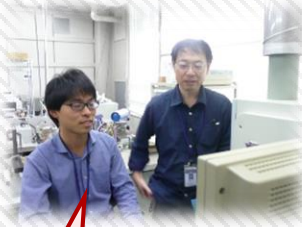
産総研で活躍するリサーチアシスタントたち

多くの大学院生が産総研で活躍しています。

< R A 受入実績 >



太田雄貴さん

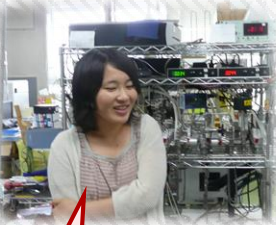


東京大学大学院
理学研究科 博士1年

産総研 地質情報研究部門
海洋環境地質研究グループ RA
(担当: 鈴木淳 研究グループ長)

産総研では大学の研究室と比べてチームで取り組むことも多く、様々な研究者と交流できる点が魅力的です。仕事として責任を持って研究に取り組んでいます。

源田 亜衣さん



岡山大学大学院
自然科学研究科 修士1年

産総研 地質情報研究部門
海洋環境地質研究グループ RA
(担当: 鈴木淳 研究グループ長)

大学で行ってきた海洋環境研究の経験をさらに応用させ、スキルアップを目指すため志望しました。岡山から来所していますが、研修施設を利用しており研究にも専念できる環境です。

高橋 正紘さん



東京理科大学大学院
基礎工学研究科 修士2年

産総研 ナノエレクトロニクス研究部門
新材料デバイス集積グループ RA
(担当: 前田 辰郎 主任研究員)

産総研にくることで企業との共同研究にも関わることができ、内定をいただくこともできました。主体的に研究を進める雰囲気があり、やりがいを感じています。

井坂 栞さん



埼玉大学大学院
理学研究科 修士1年

産総研 生命プロセス研究部門
植物機能制御研究グループ RA
(担当: 光田展隆 主任研究員)

経済的支援を受けながら学位取得を目指すこともあり、大学院進学を決定できました。大学の授業とも両立させながら取り組んでいきたいです。

竹下 智博さん



筑波大学大学院
数理物質科学研究科 博士1年

産総研
触媒化学融合研究センター
ケイ素化学チーム RA
(担当: 中島裕美子 主任研究員)

多くのプロフェッショナルが身近にいるため、研究に煮詰まったときもヒントを得ながら、教わる立場で研究を進めることができます。設備も大学と比べて充実しています。

所属・学年は平成28年7月時点

研修施設



つくばセンター内には研修施設があり、遠方の方は宿泊可能となっています。利用条件等ありますのでお近くの産総研研究者へお尋ねください。